

## 2021 年度 歴史地理学会 第 64 回大会・総会のお知らせ（参加方法・プログラム等）

1. 期 日：2021 年 7 月 31 日（土）・8 月 1 日（日）

2. 会 場：Zoom によるオンライン開催

3. 日 程：7 月 31 日（土）

10：00～11：10 研究発表会〔自由論題〕（オンライン会場 A）

12：00～13：00 評議員会（オンライン会場 B）

13：10～14：00 総会（オンライン会場 B）

14：30～16：30 沖縄地理学会シンポジウム／歴史地理学会公開講演会（オンライン会場 A）

8 月 1 日（日）

9：00～10：30 研究発表会〔共同課題〕（オンライン会場 A）

10：30～17：30 研究発表会〔自由論題〕（オンライン会場 A）

4. 沖縄地理学会シンポジウム／歴史地理学会公開講演会

テーマ：沖縄移民研究の諸論点

登壇者・内容：基調講演：石川友紀（琉球大学名誉教授）「沖縄移民研究の総括と課題」

報 告 ①：町田宗博（琉球大学名誉教授）「沖縄県人会・越境的ネットワークをめぐる論点」

報 告 ②：花木宏直（琉球大学）「移民送出の仕組み・仲介者をめぐる論点」

報 告 ③：中田耕平（読谷村史編集室）「地域史編さんにおける移民関係資料の収集と利活用  
—沖縄県読谷村史の取り組みから」

会場：オンライン会場 A

参加費：無料

5. 研究発表会

自由論題および共同課題「食文化の歴史地理」

会場：オンライン会場 A

大会参加費：無料

6. 大会参加の方法

下記【大会・総会への参加申し込みフォームの URL】に示された URL をクリックして参加申し込みフォームへアクセスし、氏名、所属、メールアドレス等の必要事項を入力して、大会参加申し込みの手続きを行ってください。申し込みメ切りは 7 月 25 日（日）です。フォームへ入力いただいた方へ、後日、大会・総会へ参加するための Zoom の URL 等の情報をメールにてお知らせします。

なお、今大会は非会員の方も無料でご参加いただけます。これを機会に、奮ってご参加ください。

【大会・総会への参加申し込みフォームの URL】

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=JV8MPrcmfUjS2dHOCM5aWx5Q2WJKuRIFoCcL-TTKW-VUOU1ETDRNSVJRRFo1N00xTIdKOVZRRFU0QS4u>

7. 大会開催中（7 月 31 日・8 月 1 日）の緊急連絡先

集会委員長（2019・20 年度）牛垣雄矢 [ushigaki\[at\]u-gakugei.ac.jp](mailto:ushigaki[at]u-gakugei.ac.jp)（すぐに対応できない場合もあります）

※[at]を@へ変えてご連絡ください。

〈大会実行委員〉 崎浜 靖（委員長，沖縄国際大学，沖縄地理学会），小川 護（沖縄国際大学，沖縄地理学会），  
花木宏直（琉球大学，沖縄地理学会）

※今大会は，沖縄地理学会（<http://www.okinawachiri.sakura.ne.jp/>）との共催で開催します。

## 研究発表会

### ◇7月31日 土曜日

開会挨拶（10：00—10：10）小川 護（沖縄地理学会会長）

#### ●【自由論題】\*は登壇者

〔座長：花木宏直〕

001（10：10—10：30）堀本雅章（法政大）：島外交通と島嶼社会の変容—沖縄県内小規模離島の事例—

002（10：30—10：50）田代 豊\*（名桜大）・劉 逸飛（和歌山大）：南西諸島砂浜への来訪者が見るシークエンス景観  
の構造

003（10：50—11：10）廣瀬 孝\*（琉球大）・大河内 萌（明治コンサルタント）：沖縄島本部山里に分布する円錐カル  
ストとコックピットカルスト

### ◇8月1日 日曜日

#### <午前の部>

#### ●【共同課題】\*は登壇者

〔座長：中村周作〕

101（9：00—9：30）花木宏直\*（琉球大）・清水克志（秀明大）・小口千明（筑波大・名誉）：近世前期日本における柑  
橋利用の一考察—薩摩藩「御献立留」の分析を中心として—

102（9：30—10：00）池田和子（農政調査委員会）：大正時代における「花かつを」商品化—商標公報の分析より—

103（10：00—10：30）野間晴雄（関西大）：ラム酒と黒糖焼酎の比較歴史地理—西インド諸島と奄美群島—

#### ●【自由論題】\*は登壇者

〔座長：荒山正彦〕

104（10：30—11：00）関戸明子（群馬大）：近代における妙義山の風景観の変遷

105（11：00—11：30）添谷尚希（ぎょうせい）：都市形成期における公衆浴場の立地展開とせめぎあい—1910年代の東  
京市及び隣接郡部を事例に—

106（11：30—12：00）原 遼平（筑波大・院）：明治中後期の茨城県における地主層の旅行

#### <午後の部>

〔座長：阪野祐介〕

107（13：00—13：30）麻生 将（佛教大・非）：近代日本の都市部におけるプロテスタント教会の立地とその変化—京  
都・大阪・神戸を比較して—

108（13：30—14：00）小松圭太（八王子市立自由木東小）：近代期における日本救世軍の地理的展開

109（14：00—14：30）武田周一郎（神奈川県立歴史博物館）：大正期から昭和戦前期の陸地測量部における地図印刷事  
業の動向

〔座長：中西偉太郎〕

110（14：30—15：00）渡辺理絵（山形大）：出羽国庄内藩領における焼畑の捕捉とその展開

111（15：00—15：30）原田洋一郎（産業技術高専）：近世，石見銀山領における鉄山師の存続基盤

〔座長：椿 真智子〕

112（15：30—16：00）山本 充（専修大）：ブラジル・パラナ州カストロのドイツ系集落における移住・定住過程

113（16：00—16：30）矢ヶ崎典隆（日本大）：カリフォルニアのサンホアキンバレーにおける灌漑事業と農業の集約化

**〔座長：山元貴継〕**

- 114 (16:30—17:00) 宮本真二\* (岡山理科大)・安藤和雄 (京都大)・大西信弘 (京都先端科学大)・南出和余 (神戸女学院大)：アジア・モンスーン地域における災害履歴とグローバル問題群の発生過程の検討
- 115 (17:00—17:30) 天野宏司 (駿河台大)：植民地期朝鮮半島における電灯需要の民族差について